

## 株式会社UCS(8787) 2013 年 2 月期決算発表

## 1. 経営成績

〔単位：百万円〕

	営業収益	営業利益	経常利益	当期 純利益
2013 年 2 月期 (前年同期比)	16,726 (1.9%)	2,513 (△22.0%)	2,518 (△22.0%)	1,399 (△19.6%)
2012 年 2 月期 (前年同期比)	16,415 (△4.8%)	3,222 (76.2%)	3,228 (76.0%)	1,740 (70.9%)

## 2. 部門別概況

## (1) 包括信用購入あっせん(クレジットカードショッピング)

アピタ、ピアゴ店舗におけるクレジットセール開催やボーナスUポイントの導入、サークルKサンクスにおけるポイント土日2倍デーにより、請求単価の増加ならびにカード稼働率が向上いたしました。加えて、ポイントプログラムの改定による優良顧客の拡大や、一括払いからリボルビング払い、分割払いへの変更を推進により、営業収益は増加いたしました。この結果、取扱高は、5,055 億 51 百万円(前年同期比 14.0%増)、営業収益は、108 億 21 百万円(前年同期比 11.7%増)となりました。

## (2) 融資

取扱高は改善の兆しが見られたものの、営業貸付金残高は前事業年度末に比べ 19.1%減、37 億 10 百万円減少し、157 億 53 百万円となりました。この結果、取扱高は、142 億 24 百万円(前年同期比 0.9%増)、営業収益は、31 億 13 百万円(前年同期比 24.1%減)となりました。

## (3) 保険代理業

クレジットカード会員向け通販保険のテレマーケティング強化および損害保険の販売体制の強化、保険ショップの営業力強化により、引き続き堅調に推移いたしました。この結果、営業収益は、15 億 91 百万円(前年同期比 6.7%増)となりました。

以上の結果、その他の収益と合わせて、全体の営業収益は、167 億 26 百万円(前年同期比 1.9%増)となりました。

## 3. 営業費用

利息返還損失の高止まりによる利息返還損失引当金繰入額の増加ならびにポイント費用の増加により販売促進費が増加いたしました。この結果、営業費用は、142 億 13 百万円(前年同期比 7.7%増)となりました。

## 4. 営業利益・経常利益・当期純利益

以上の結果、営業利益は、25 億 13 百万円(前年同期比 22.0%減)、経常利益は、25 億 18 百万円(前年同期比 22.0%減)、当期純利益は、13 億 99 百万円(前年同期比 19.6%減)となりました。